

決意表明

UAゼンセン イオンリテールワーカーズユニオン
中央執行委員 中四国グループ副議長 吉井 美雪

みなさんこんにちは！

私は UA ゼンセン イオンリテールワーカーズユニオンで中四国グループ副議長を仰せつかっております吉井美雪と申します。

パートタイマーで働く仲間を多く抱える組合を代表して、本日は春の労働条件闘争に向けた決意表明をさせていただきます。

どうぞよろしく願致します。

私どもイオンリテールワーカーズユニオンの組合員が働く職場は、ここにおられる皆さまも良くご利用頂いている イオンなどのスーパー、いわゆる流通産業でございます。

中四国グループの本部は広島にあり、中国四国 9 県に約 8800 人の組合員で構成されており、そのうちの約 8 割がパートタイマーで働く組合員です。また全体の約 8 割が女性の組合員で構成されています。

ここ山口県では防府店・光店の2店舗で、365 人の仲間が働いており、組合活動を行っています。

私たちの職場は、パートタイマーで働く仲間を支えられている職場である事は、この数字からもご理解いただけるかと思えます。

私自身は現在、中央執行委員として組合活動をしています。現場において組合員の皆さんから教えていただくことの多い毎日を送っています。

そうした日々の中で正社員だけでなく、パート従業員の方々から相談を受ける事、お話を聞くことが少なくありません。パート従業員とはいっても、職場の中核で地域のお客さまのために一生懸命仕事をしている方ばかりで、会社にとっての大事な戦力です。ご自身の事だけでなく、家庭との両立の中で時間を惜しみながら努力を続けている方、働きながら子育てやあるいは介護をされている方、また自らが家計の主体となっている方、その相談内容も解決方法も様々です。

このように業務の違い、働き方の違い、職場環境の違いなど複雑になる中で、労働組合の重要性を日々感じている次第です。

さて UA ゼンセンの2023賃金闘争の要求基準は、正社員において賃金体系維持分に加え、4%程度の賃金引き上げを要求する事、短時間組合員の要求ではパート・有期法の施行と同一労働同一賃金ガイドラインの指針化を踏まえ、正社員組合員との均等・均衡を考慮しつつ、格差是正をめざすために昇給昇格分に加え3%以上の要求としています。

私たちイオンリテールワーカーズユニオンは、UAゼンセンの方針に則り、様々な環境の中、懸命に努力して貢献してくれている人の笑顔に答えるべく、交渉を重ねてきました。

そして、UA ゼンセンの仲間のためにも、相場形成という意味合いで満額での早期妥結を目指し、3月1日に妥結することができました。

経営状況は決して良い状況ではない中、これまでにない正社員 5%、短時間組合員 7%という満額での会社回答は、「人への投資」に対する経営の強い意志の表れであると受け止め、私たち組合員は更に生産性を高めることで利益を生み出していかなければなりません。職場で働く組合員に今交渉の意味合いを伝え、労使一丸となって会社の政策実現に取り組んでいく所存であります。

私たちは商品を物販し、利益の中から配分をもらうという民間企業であります。

本日、この集会のあとお帰りになる際やご家族で、ぜひたくさんのお買いものを UA ゼンセン加盟組合のイオン・マックスバリュ・マルナカ・フレスタ・アルク等の店舗にてしていただければと思います。

UA ゼンセンの仲間の多くの組合では、これから会社との厳しい交渉が待ち受けています。UA ゼンセン一丸となって、粘り強い交渉に取り組んで参ります。

この 2023 年の賃上げは、皆様のお買い上げで決まるといっても過言ではありません。山口県内にもたくさんの加盟組合の店舗がございますので、ぜひご協力を宜しくお願い致します。

以上で私の決意表明を終了致します。

共に頑張りましょう。